



平成23年1月期決算発表 ご説明資料

(当社第 1 期 平成22年2月1日～平成23年1月31日)

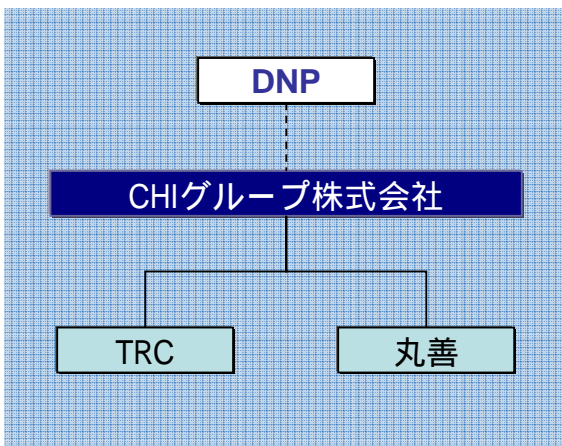
平成23年3月17日
CHIグループ株式会社

説明者：代表取締役社長兼最高経営責任者 小城 武彦



1. 当期の位置付けと設立時の方針

- 平成22年2月、丸善株式会社と、株式会社図書館流通センター(TRC)が経営統合して共同持株会社「CHIグループ株式会社」を設立し、同日、東証1部に上場。
- 「知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる」をグループビジョンとして、日本の社会に貢献することを目指す。



1.電子化・インターネット事業への取組み

2.書籍販売事業の収益向上

3.図書館業務受託の「No1」企業グループへ

2. 当期業績サマリー（連結）

- ▶ 長引く円高、デフレの継続、雇用・消費の停滞により国内需要の回復は依然として弱く、先行き不透明感が払拭されない状況。
- ▶ TRCを中心に図書館向け事業は順調に推移。
- ▶ 丸善(株)において年間一括契約雑誌等商品の売上基準変更により、売上高（6,982百万円）・利益（1,309百万円）に大きく影響（今期のみ影響）。〔2010年12月15日に公表〕
- ▶ 丸善(株)の基幹システム入替時のデータ移行の遅れから商品出荷が遅延し、売上高・利益を大きく下げる。〔本年3月11日に公表〕

（単位：百万円）

【平成23年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想値 (2011年3月11日発表)	115,250	1,240	1,100	1,270
実績（本日発表）	115,270	1,255	1,100	1,273
対業績予想 増減額	+20	15	0	3
対業績予想 比	100%		100%	

2

All Rights Reserved, Copyright© CHI Group CO.,LTD.2011

3. 当期の損益ハイライト（連結）

全社計

（単位；百万円）

第一期	平成22年2月1日 ～ 平成23年1月31日	特殊要因を除外 した場合	備考
売上高	115,270	122,252	会計基準の変更による影響6,982百万円
売上総利益	26,856	28,165	会計基準の変更による影響1,309百万円
販管費	28,112	28,112	
営業利益	1,255	54	会計基準の変更による影響1,309百万円
経常利益	1,100	209	会計基準の変更による影響1,309百万円

セグメント別情報

（単位；百万円）

第一期累計	文教市場 販売事業	店舗・ネッ ト販売事業	図書館サ ポート事業	出版事業	その他事業	消去又は 全社	合計
売上高	58,939	34,508	12,108	4,776	4,937		115,270
営業利益	1,515	445	791	446	181	3,743	1,255

参考値

売上高対前年比	96.2%	93.0%	127.3%	93.3%	112.4%		98.6%
---------	-------	-------	--------	-------	--------	--	-------

当社は当連結会計年度が第1期で前期実績がないため、比較対象の対前年比は参考値になります。
文教市場販売事業の対前年比96.2%は、年間一括契約雑誌等商品の売上基準変更による売上高減少の影響を除外して対比しています。

3

All Rights Reserved, Copyright© CHI Group CO.,LTD.2011

4. 主要事業 文教市場販売事業

(単位;百万円)

第一期	累計
売上高	58,939
営業利益	1,515

セグメント事業

- 学術研究、教育に関する電子を含む出版物の提供
- 英文校正・翻訳サービスをはじめとする研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書誌データベース(TRC MARC)の作成・販売、図書装備等の提供
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売

●ポイント

- ・公共図書館向け事業については順調に推移。
- ・大学向け書籍販売において、業務システムを新システムに入替。一部データの移行に遅れがあったため、商品お届けに遅延が発生し当期売上に影響。現在は収束にむかう。
- ・当期において年間契約の書籍・雑誌について、一括売上から分割売上に変更する会計基準の変更を実施。これによる影響が 売上高 6,982百万円 売上総利益 1,309百万円(来期は発生しない)。

4. 主要事業 店舗・ネット販売事業

(単位;百万円)

第一期	累計
売上高	34,508
営業利益	445

セグメント事業

- 丸善書店(株)の、主に全国都市部を中心とした店舗網にて、和書、洋書、文具・雑貨等の販売
- オンライン書店「ピーケーワン」の運営

●ポイント

- ・丸善(株)の店舗事業部を丸善書店(株)として分社化(8月)。将来的にはジュンク堂との統合も視野に運営の効率化。
- ・当期においては5店舗を出店。加えて渋谷東急にジュンク堂とのダブルネーム店舗を出店。
- ・一方で中小店舗を中心に7店舗を閉店
- ・全体の売上高は対前 93.0%、既存店売上高は対前年 96.8%で推移した。

4. 主要事業 図書館サポート事業

(単位;百万円)

第一期	累 計
売上高	12,108
営業利益	791

セグメント事業

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務及び人材派遣

●ポイント

- ・ 公共図書館のTRC、大学図書館の丸善、それぞれの強みを活かして事業を拡大。
- ・ 図書館業務受託では公共・大学合計で141館増加し、当期末で597館となった。
- ・ 図書館員の教育・研修を共同で実施することで、受託業務の質的向上に努めることで一層の拡大を図る。

4. 主要事業 出版事業

(単位;百万円)

第一期	累 計
売上高	4,776
営業利益	446

セグメント事業

- 丸善株式会社の出版事業
- 『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧、大学テキスト等の刊行。及びビデオ・DVDの発売。
- TRC子会社 岩崎書店
- 絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行。

●ポイント

- ・ 「理科年表」をはじめとする理工系分野を中心とした専門書と児童書、図書館向け書籍で年間で新刊を277点刊行した。
- ・ 書店市場の縮小傾向と刊行スケジュールの遅れから売上高が減少した。
- ・ 第2期(2011年2月1日)より、丸善(株)から「丸善出版株式会社」として分社化し、CHIグループ(株)の子会社となる。

4. 主要事業 その他事業

(単位;百万円)

第一期	累 計
売上高	4,937
営業利益	181

セグメント事業

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- その他

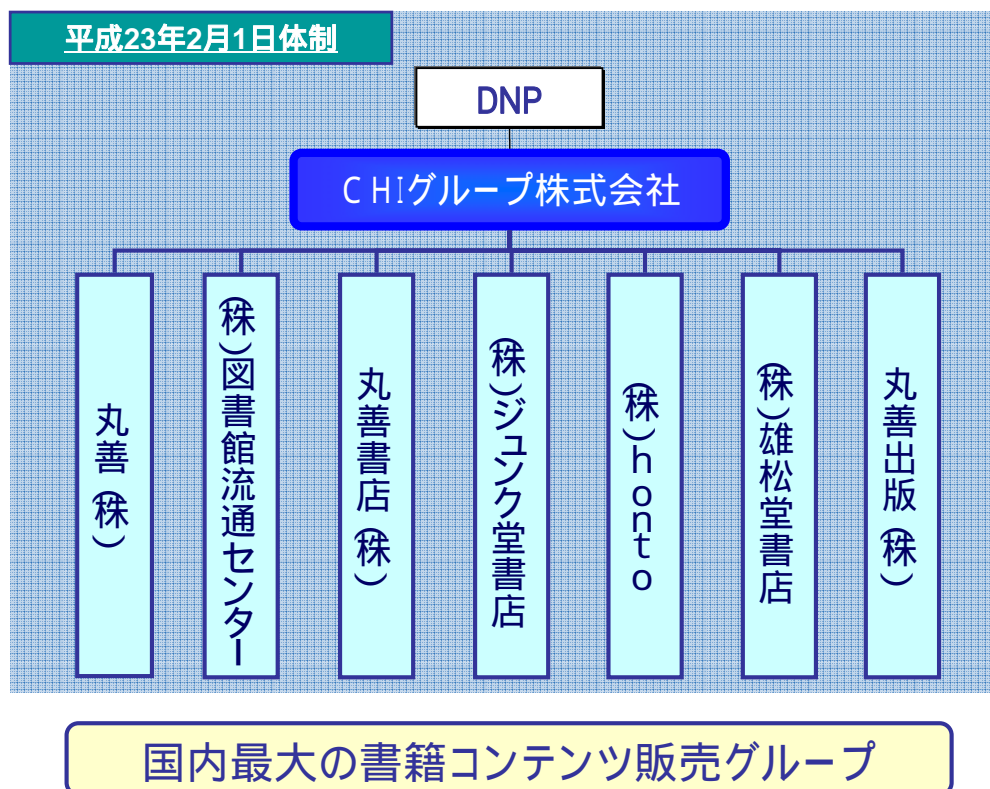
●ポイント

- ・ 堅調な新古書店やジュンク堂との協力関係により安定して推移した。
- ・ 書店、AVレンタル店向け（グループ内除く）の内装受注は減少傾向も、メンテナンス関連に注力するとともに、DNPとの協業による書店以外の小売、サービス業からの受注UPでカバーした。

5. トピックス

(ご参考) 当期のトピックス

平成22年	2月1日	当社設立。同日、東証1部に上場
	6月29日	株式会社ジュンク堂書店を、翌年2月1日を期して当社の完全子会社とすることを発表 丸善の店舗事業を分社化し、同年8月2日付けで「丸善書店株式会社」を新設することを発表。また、新設会社は来年2月1日を期して当社の完全子会社とすることを発表
	7月1日	丸善、株式会社雄松堂書店及び大日本印刷で、洋書及び海外学術研究資料の輸入・販売に関する業務提携契約を締結
	10月20日	株式会社雄松堂書店を、翌年2月1日を期して当社の完全子会社とすることを発表
	12月24日	電子書店の開発・運営のため、株式会社hontoを設立
平成23年	1月12日	株式会社2Dfact（DNPとdocomoと当社が共同出資して設立）により、電子書籍販売サービス「honto」を開始
	2月1日	7社体制で第二期をスタート



6. 今後の戦略について(1)

図書館向け事業 TRC・丸善

- 書籍販売事業については今後も堅調に推移
- 業務支援系事業については、よりよい図書館作りへのニーズから高い成長性を見込む
- 紙と電子の区別なく収集・貸出が可能な電子図書館対応推進 (TRC Digital Library、丸善Knowledge Worker)

大学(研究者)向け事業 雄松堂・丸善

- 古書を中心とした雄松堂の目利き力・調達力と丸善の営業ネットワークを組み合わせた販売力向上
- 研究者向け電子コンテンツの販売システムの構築

6. 今後の戦略について（2）

店舗事業

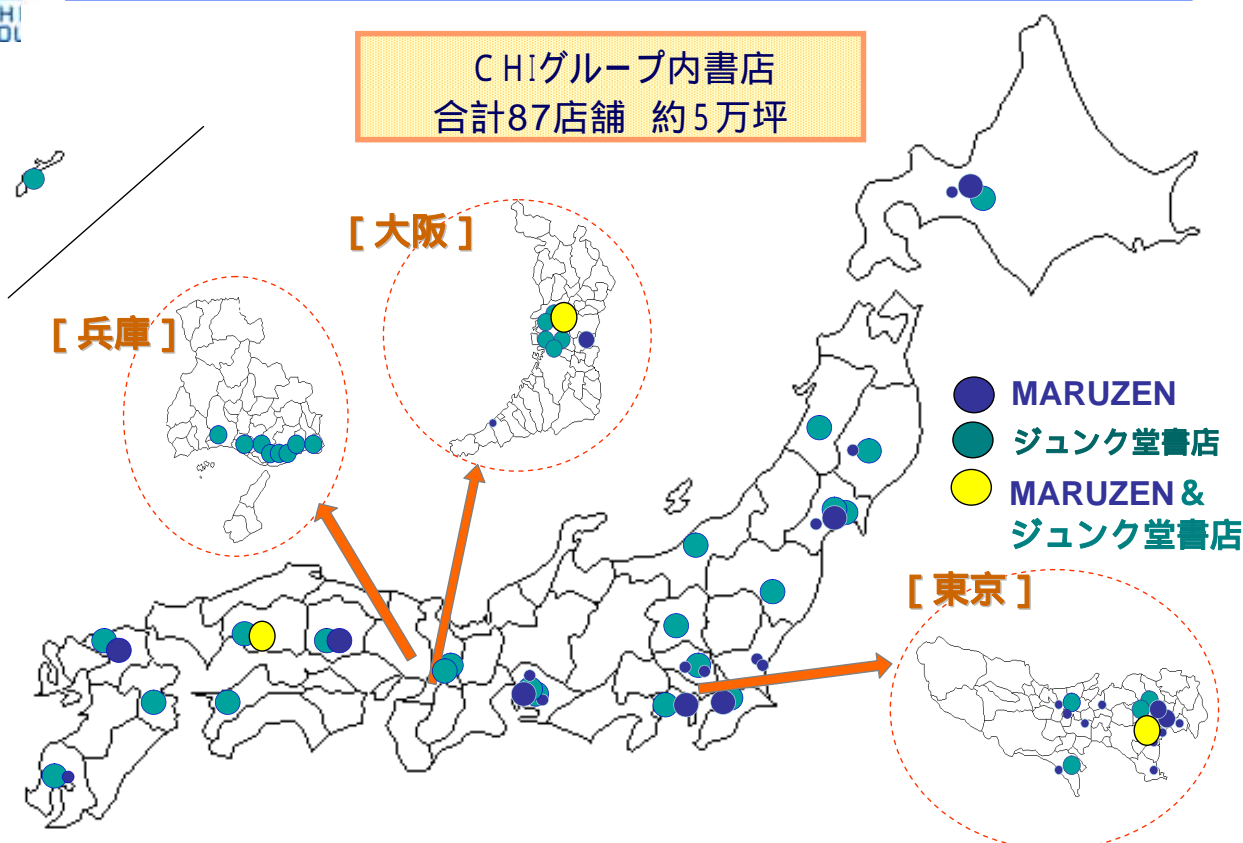
ジュンク堂・丸善

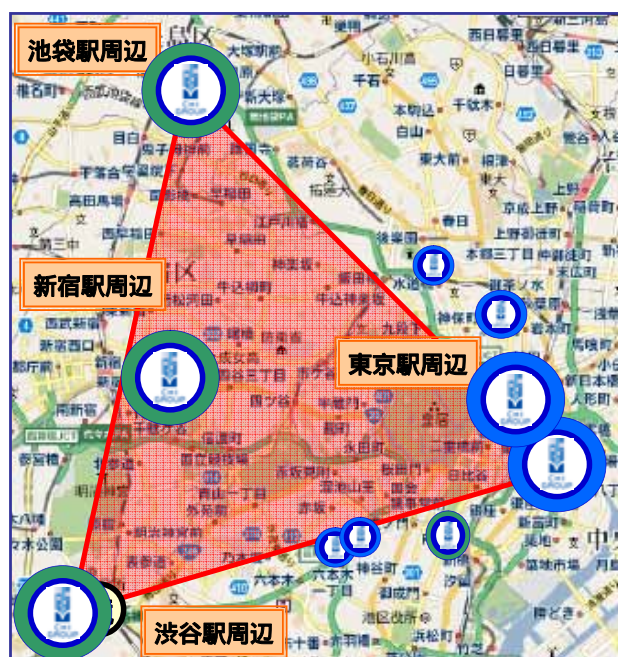
ハイブリッド書店

2Dfacto・honto

- ジュンク堂、丸善のノウハウを共有した効率的運営、共同出店戦略の構築
- 店舗ネットワークの拡大による、全国ネットワーク力向上
- 2Dfactoによる電子書籍販売サービスhontoのスタート
- ジュンク堂、丸善のリアル書店とTRCのbk1、hontoが連携したハイブリッド書店戦略の構築

参考) 全国規模の店舗ネットワーク





丸善店舗



ジュンク堂店舗

7. 来期業績見通しについて

本日開示の平成23年1月期の決算短信において平成24年1月期の業績予想を発表する予定でしたが、首都圏等における計画停電や交通機関の混乱等の継続を含む、東北地方太平洋沖地震の影響が現時点では明らかではないため、本日の業績予想は発表を延期させていただいております。

予想が可能な状況となりましたら、出来る限り早急に発表させていただきます。